

NHO フェローシッププログラム申請書

1. 研修プログラム名； 乳腺病理診断短期集中コース
2. 診療科（専門領域）
病理診断科（乳腺）
3. コースの概要
留学期間中、最新の WHO 分類（2012 年）に基づく乳腺病変の診断について集中トレーニングを受けることが出来る。
4. 短期目標
多彩な乳腺病変の病理診断に必要な基礎的知識，標本の取り扱い方、免疫染色の利用法を修得することを目的とする。
5. 長期目標
病理組織学の専門知識と問題解決能力を取得し、症例報告のまとめ方や臨床研究の計画立案についても学ぶ。
6. 取得手技
新 WHO 分類における乳腺病変の診断基準を理解し，鑑別診断の進め方および悪性度評価法が修得できる。さらに適切な切り出し方、断端評価、インクの効果的利用法、免疫染色の利用、報告書作成法が習得できる。
7. 研修期間
1 週間～1 か月
8. 募集人数
1～2 名

9. 診療科の実績

標本の種類	症例数 (年間)
乳腺針生検	100
乳腺細胞診	400
乳腺手術	200
乳腺コンサルテーション	100
合計	800

10. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤病理専門医 4名

診療科研修の指導にあたる医師 2名

主として研修指導にあたる医師の氏名 市原周

〃 診療科経験年数 30 年

11. コンセプト

乳癌検診、画像診断の発達に伴い増加している乳腺病変の適切な病理診断に必要な基礎的知識および技能を修得する。

最新のWHO分類にもとづいた報告書の作成を習得できる。

1400例を超える乳腺コンサルテーション症例ファイルの鏡見を行うことができる。

指導責任者は、WHO Blue book (第4版) のワーキンググループメンバーで Virchows Archiv 編集委員。

12. 共通領域研修について

乳腺画像カンファレンス (月一回)

乳腺術前カンファレンス (週一回)

外科病理カンファレンス (週一回)